

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月12日

【四半期会計期間】 第55期第3四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第54期 第3四半期 連結累計期間	第55期 第3四半期 連結累計期間	第54期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高	(千円)	4,860,311	12,110,829	6,568,403
経常利益	(千円)	642,410	2,050,211	900,444
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	397,078	1,327,951	715,187
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	396,314	1,332,123	708,587
純資産額	(千円)	7,655,217	9,081,234	7,967,490
総資産額	(千円)	12,853,865	15,675,772	14,505,112
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	45.46	152.02	81.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	59.6	57.9	54.9

回次		第54期 第3四半期 連結会計期間	第55期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	2.94	51.39

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、個人消費が持ち直し企業収益や雇用・所得環境が底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調が持続いたしました。しかしながら、台風や豪雨による甚大な被害の発生で日本経済の被るダメージが懸念される所であり、海外においては、米中を中心とした通商問題、中国経済の減速、英国EU離脱問題等、今後我が国経済に悪影響を及ぼしかねない要因も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、オリンピック関連の大型建設プロジェクトが次々と佳境に入るとともに、さまざまな都心部大型開発プロジェクトも並行して進行する等引き続き活況を呈しております。そうした中、人手不足で労務費や輸送費は高止まり、特に建設技能労働者の減少・高齢化は深刻な問題として、各社、人材確保に懸命な努力を続けています。PCカーテンウォール業界及び当社では、現在、外壁の取付作業量がピークに来ており、高負荷の中、安全に出荷・取付していくことが課題です。一方、工場生産は昨年来のフル稼働状態からようやく峠を越し、当面は工場稼働率が低下する見込みです。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

当第3四半期連結累計期間の、当社企業グループの業績は売上高は121億10百万円（前年同四半期比149.2%増）、営業利益19億84百万円（前年同四半期比245.7%増）、経常利益20億50百万円（前年同四半期比219.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億27百万円（前年同四半期比234.4%増）となりました。

なお、受注高は58億55百万円（前年同四半期比36.5%減）、受注残高は127億45百万円（前連結会計年度末比32.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

当第3四半期連結累計期間においては、元々オリンピック前年で工事の完成がピークを迎える時期であったことに加え、建設現場の遅れにより前年度から繰り越してきた物件が完成に至ったこと等により、当セグメントの売上高は117億67百万円（前年同四半期比148.4%増）、セグメント利益は19億84百万円（前年同四半期比219.3%増）となりました。なお、売上のトレンドに季節性はございません。

アクア事業

当第3四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は3億1百万円（前年同四半期比246.9%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント損失）となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は41百万円（前年同四半期比15.2%増）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は20百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は156億75百万円と前連結会計年度末と比較して11億70百万円の増加となりました。これは主に、現金預金が9億36百万円、受取手形・完成工事未収入金等が9億33百万円及び電子記録債権が7億44百万円増加したことと、未成工事支出金が13億29百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は65億94百万円と前連結会計年度末と比較して56百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債務が4億82百万円、未払法人税等が4億77百万円及び引当金が1億27百万円増加したことと、支払手形・工事未払金等が6億54百万円及び長期借入金が3億4百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は90億81百万円と前連結会計年度末と比較して11億13百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により13億27百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億18百万円減少したことにより11億9百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		9,553,011		100,000		

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 817,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,731,300	87,313	
単元未満株式	普通株式 3,911		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		87,313	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式14株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	817,800		817,800	8.56
計		817,800		817,800	8.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	665,280	1,602,061
受取手形・完成工事未収入金等	869,327	1,803,115
電子記録債権	790,121	1,534,849
未成工事支出金	6,623,646	5,294,051
その他のたな卸資産	93,302	71,695
その他	348,124	70,874
流動資産合計	9,389,804	10,376,646
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	636,679	626,341
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	614,068	671,130
有形固定資産合計	3,033,849	3,080,574
無形固定資産	38,784	41,242
投資その他の資産		
投資有価証券	214,411	223,755
保険積立金	910,726	945,719
投資不動産(純額)	119,194	118,766
退職給付に係る資産	100,984	106,848
その他	713,923	798,786
貸倒引当金	16,567	16,567
投資その他の資産合計	2,042,674	2,177,309
固定資産合計	5,115,308	5,299,125
資産合計	14,505,112	15,675,772
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,294,354	639,977
電子記録債務	-	482,866
短期借入金	637,000	617,000
1年内償還予定の社債	100,000	60,000
未払法人税等	219,779	696,898
未成工事受入金	2,781,160	2,758,144
引当金	63,398	190,805
その他	289,775	343,387
流動負債合計	5,385,468	5,789,078
固定負債		
社債	60,000	-
長期借入金	552,000	248,000
役員退職慰労引当金	460,012	473,556
その他	80,141	83,902
固定負債合計	1,152,153	805,459
負債合計	6,537,621	6,594,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	4,779,463	5,889,035
自己株式	238,430	238,430
株主資本合計	7,924,396	9,033,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,094	47,266
その他の包括利益累計額合計	43,094	47,266
純資産合計	7,967,490	9,081,234
負債純資産合計	14,505,112	15,675,772

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	4,860,311	12,110,829
売上原価		
完成工事原価	3,756,925	9,554,653
売上総利益		
完成工事総利益	1,103,385	2,556,175
販売費及び一般管理費	529,334	571,712
営業利益	574,051	1,984,463
営業外収益		
受取利息	334	339
受取配当金	1,704	1,948
投資有価証券売却益	-	6,651
投資不動産賃貸料	5,881	4,463
受取家賃	10,447	10,281
鉄屑売却収入	29,952	37,028
テナント退店違約金受入益	19,576	-
その他	13,639	16,910
営業外収益合計	81,536	77,622
営業外費用		
支払利息	8,845	6,588
不動産賃貸費用	2,392	2,187
その他	1,938	3,097
営業外費用合計	13,176	11,873
経常利益	642,410	2,050,211
特別利益		
固定資産売却益	1,149	799
特別利益合計	1,149	799
特別損失		
固定資産除却損	3,161	1,847
特別損失合計	3,161	1,847
税金等調整前四半期純利益	640,399	2,049,164
法人税、住民税及び事業税	288,841	813,229
法人税等調整額	45,520	92,017
法人税等合計	243,321	721,212
四半期純利益	397,078	1,327,951
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,078	1,327,951

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	397,078	1,327,951
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	764	4,171
その他の包括利益合計	764	4,171
四半期包括利益	396,314	1,332,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,314	1,332,123

【注記事項】

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	147,442千円	196,413千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月29日 定時株主総会	普通株式	87,352	10.00	2017年12月31日	2018年3月30日	利益剰余金
2018年7月27日 取締役会	普通株式	87,351	10.00	2018年6月30日	2018年9月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	87,351	10.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年7月25日 取締役会	普通株式	131,027	15.00	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,737,599	86,999	4,824,598	35,712	4,860,311		4,860,311
セグメント間の内部売上高又は振替高				1,000	1,000	1,000	
計	4,737,599	86,999	4,824,598	36,712	4,861,311	1,000	4,860,311
セグメント利益又はセグメント損失()	621,568	32,226	589,341	20,990	568,351	5,700	574,051

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額5,700千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829		12,110,829
セグメント間の内部売上高又は振替高							
計	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829		12,110,829
セグメント利益又はセグメント損失()	1,984,766	16,012	2,000,779	16,316	1,984,463		1,984,463

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	45円46銭	152円02銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	397,078	1,327,951
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	397,078	1,327,951
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,205	8,735,197

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第55期(2019年1月1日から2019年12月31日まで)中間配当について、2019年7月25日開催の取締役会において、2019年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	131,027千円
1株当たりの金額	15円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 山 田 英 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。